

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第1学年 「図画工作（日本文教出版）」

48時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	かきたいもの なあに ～すきなもの いっぱい～ 2時間	自分の好きなものを、いろいろな形や色などを捉えながら、好きな形や色を使い、表し方を工夫して表すことを楽しむ。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
		かきたいもの なあに ～おひさま にこにこ～ 2時間	自分の思い浮かべたおひさまを、いろいろな形や色などを捉えながら、好きな形や色を使い、表し方を工夫して表すことを楽しむ。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
2	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 工作 2時間	ちよきちよき かざり	折ったり重ねたりした色紙を切ることからいろいろな形や色を捉え、飾りたい形を見付けたり、考えたりするとともに、はさみを使うことに慣れ、教室や身近な場所の飾りを工夫して表す。	2	
3	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞 (1)ア 造形遊び 【選択】	すなや つちと なかよし ～すなや つちで～ 2時間	砂や土の感触を十分に味わいながら、思い付いたことを試して、いろいろな形や触った感じなどを捉えながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
		すなや つちと なかよし ～ねんどの かたまりで～ 2時間	粘土の感触を十分に味わいながら、思い付いたことを試して、いろいろな形や触った感じなどを捉えながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
4	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 立体 【選択】	ひもひも ねんど 2時間	粘土をひも状にしながらかきたいことを見付け、いろいろな形や触った感じを捉えながら、表し方を工夫し、協力するなどして立体に表す。	2	
		はこで つくったよ 2時間	箱を積んだり、並べたり、つなげたりする活動を楽しみながら表したいものを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、工夫して立体に表す。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
5	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	みてみて あのね 4時間	生活の中でしたことを思い浮かべながら表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら表し方を工夫して楽しく絵に表す。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
		のって みたい な いきたいな 4時間	乗ってみたいものや行ってみたい場所を自由に想像を広げ、いろいろな形や色などを捉えながら、表したいことを工夫して表す。	4	・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
6 7	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 工作 4時間	おって たてたら	紙を折って立てることから表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、切ったりかいたりするなど表し方を工夫して表すことを楽しむ。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
8 9	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞 (1)ア 造形遊び 【選択】	べったん コロコロ 4時間	体全体を使っていろいろな材料の形を楽しく写しながら活動を思い付き、写し方を工夫しながら、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えたり、つくりだしたりすることを楽しむ。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・材料を置く場所やインク（絵の具）を付ける場所などを、児童の動きに合わせて設定し、動きに無駄がないよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動は家庭での課題とし、本製作の前に確認する。
		カラフル いろみず 4時間	いろいろな色の水をつくったり、できた色水を並べたりするなど思い付いたことを試しながら、いろいろな色や形などを捉え、活動を工夫してつくることを楽しむ。	4	・アイデアスケッチなど、構想を練る活動は家庭での課題とし、本製作の前に確認する。
10	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 立体 【選択】	ごちそう パーティー はじめよう! 2時間	いろいろな食べ物の形を思い浮かべて表したいことを見付け、いろいろな形や触った感じなどを捉えながら、粘土を丸めたり伸ばしたり、ねじったりつまみ出したりするなど表し方を工夫して表すことを楽しむ。	2	
		いっしょに おさんぽ 2時間	二輪に散歩に行きたい仲間を思い浮かべて表したいことを見付け、いろいろな形などを捉えながら、形を選んだり考えたりして、表し方を工夫して粘土で表す。	2	
11	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	やぶいた かたちから うまれたよ 4時間	破いたりちぎったりした紙の形や色などから表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、紙を貼ったりかき加えたりして表し方を工夫して絵に表す。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
		いろいろな かたちの かみから 4時間	紙の形をいろいろな向きから見て、表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して絵に表すことを楽しむ。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。

12 13	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア	ひらひら ゆれて	材料が風に揺れる様子から、風に揺れると楽しかったり、きれいだったりする飾りを考え、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して表す。	4	家庭 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動は家庭での課題とし、本製作の前に確認する。 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	工作 【選択】	かざって なに いれよう	箱や袋の形や色、箱や袋に入れたいものからつくりたい箱や袋を考え、いろいろな形や色などを捉えながら、飾り方を考え、楽しみながら表し方を工夫して表す。	4時間	
14 15	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア	おはなしから うまれたよ	物語を聞いたり読んだりして感じたことや想像したことから表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、表したいものに合う形や色を考え、表し方を工夫して絵に表す。	6	家庭 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
16	B鑑賞 (1)ア	でこぼこ はっけん！ ～かみねんども おして～	身の回りがあるでこぼこを見付け、いろいろな形や触った感じなどを捉えながら粘土で写し、写し取った形の面白さを味わい、見方や感じ方を広げる。	2	・友達との間隔を保って活動する。
		でこぼこ はっけん！ ～こすりだして～	身の回りにあるでこぼこを見付け、いろいろな形や触った感じなどを捉えながらこすり出して写し、写し取った形の面白さを味わい、見方や感じ方を広げる。	2	・写し取る紙の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・友達との間隔を保って活動する。
	【選択】	すきまちゃんの すきな すきま	すきまちゃんの目で、すきまちゃんと一緒に身の回りの隙間を見付け、いろいろな形などを捉えながら、隙間の形の面白さや楽しさを感じ取り、見方や感じ方を広げる。	2	・友達との間隔を保って活動する。
				2時間	
17	A表現 (1)ア (2)ア	いっぱい つかって なに しよう ～はこで～	たくさんの箱に触れて思い付いたことを試して、いろいろな形や色などを捉えながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
		いっぱい つかって なに しよう ～カップで～	たくさんの、同じ形のカップに触れて思い付いたことを試して、いろいろな形や色などを捉えながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
	造形遊び 【選択】	いっぱい つかって なに しよう ～せんたくばさみで～	たくさんの洗濯ばさみに触れて思い付いたことを試して、いろいろな形や色などを捉えながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
		ならべて ならべて	身の回りにある材料を並べたり積んだりしながら造形的な活動を思い付き、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えながら、活動を工夫して楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
18 19	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア	かみざら コロコロ	箱や袋の形や色、箱や袋に入れたいものからつくりたい箱や袋を考え、いろいろな形や色などを捉えながら、飾り方を考え、楽しみながら表し方を工夫して表す。	4	家庭 ・速乾性の接着剤を使用し、乾燥時間の削減を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
		【選択】 によきによき とびだせ	息を吹き込むと膨らむ仕組みを使った楽しいおもちゃを発想したりや構想したりし、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して表す。	4時間	家庭 ・状況に応じて実施時期をずらす。 ・作品の着色には、油性ペンを使用したり、色紙を貼ったりすることで、絵の具を乾燥させる時間を削減する。
20 21	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア	うつした かたちから ～えのぐをつけた かたちから～	写したものの形や色から表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら写し方や色を工夫して、楽しく絵に表す。	4	・作品の大きさや材料の種類を制限することで、時間削減できるよう配慮する。
		うつした かたちから ～こすりだした かたちから～	写したものの形や色から表したいことを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら写し方や色を工夫して、楽しく絵に表す。	4時間	・鑑賞題材「でこぼこ はっけん！～こすりだして～」の活動ででこぼこを写し取った紙を活用して作品をつくる。

※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、立体の題材として、「ひもひも ねんど」「はこで つくったよ」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り（製作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。